

# 「骨寺通信」

第21号

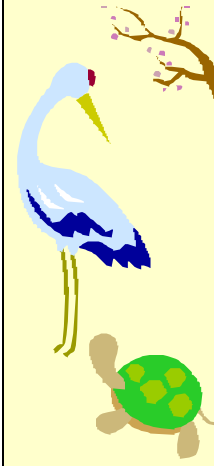
本寺地区地域づくり  
推進協議会会報  
E-Mail  
honedera@mx21.tiki.ne.jp

## 新年のご挨拶

あけましておめでとございませう。

昨年は骨寺村荘園遺跡にとつて、国からの重要文化的景観への選定を受け、また、世界遺産への推薦書提出がされるなど平成20年の世界遺産登録に向け大きく前進した年でした。また、当協議会としてもこれまでの田植え体験や稲刈り体験の開催に加え、景観阻害要因となるFRPサイロの撤去作業や史跡への管理道の刈払い作業、本寺川清掃活動や各種研修への参加など多種多様な活動を行うことができました。これもひとえに、地域の皆様と力を合わせて取り組んだおかげだと思います。

今年はいコモス（国際記念物遺跡会議）の現地調査が入るなど、世界遺産登録に向けて大きく前進する年となります。このため、登録を目前に控え、地域づくりもこれまで以上に推進していく必要があります。ついては、昨年同様、皆様の力を借りて本寺地区を盛り上げていきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。



本寺地区地域づくり推進協議会

会長 佐藤 武雄



茅葺き民家が並ぶ町並み



古民家を利用した売り場

## 12月17日 「大内宿」を見学

「大内宿」は福島県の南部に位置する下郷町にあります。大内宿はかつての会津西街道の宿場町で、現在も街道沿いに、約40件の茅葺き民家が当時の面影を残して並び、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。現在では年間約90万人の観光客が訪れる観光地となっています。

今回の研修には地元から75名の参加があり、バスで約5時間かけて「大内宿」に向かいました。到着後、大内集落公民館で区長の阿部公さんより、大内宿の保存やその組織体制、地域づくりなどについて詳しくお話しいただきました。この中で大内宿では景観を保存するため、建物や土地を「売らない、貸さない、壊さない」を基本に住民に徹底していることや加工品について、また、そばを作付けし、その粉を使用してそば屋を運営していることなどを伺いました。

昼食には名物になったそばをいただきます。町並みを見学して帰路につきました。



位置図



大内集落公民館での研修会風景

## 女性研修会 参加者募集

特産品、加工品づくりや農家レストランの取組について、研修会を開催します。今回は一関市大東地域の「工房地あぶら」「農家レストランおふくろ」「山あい工房」を視察します。詳しい内容は次のとおりとなっていますので、是非参加してください。

開催日時：二月二十一日（日）

午前八時半～午後四時四〇分

集合場所

・本寺ふれあいセンター前

（八時半）

・駒形集会所前（八時三十二分）

・屯所前（八時三十五分）

交通手段：市役所マイクローバス

参加費：千円（昼食代含）

申込期限：一月十六日（火）

申込先：八区 佐藤恵子

九区 佐藤次子

十区 佐藤ヨシ子

